JNSA ワーキンググループ紹介

みんなの「サイバーセキュリティコミック」 実行委員会

社会活動部会 みんなの「サイバーセキュリティコミック」実行委員会 実行委員長:本川 祐治(株式会社 日立システムズ)

はじめに

みんなの「サイバーセキュリティコミック」(以降、「みんコミ」)はJNSA会員の協賛で運営されています。 会員のみなさまのご理解ご協力ありがとうございます。2022年度シーズン3開催を計画中です。引き続きよろしく お願いいたします。

1. 「みんコミ」開始の背景

サイバーセキュリティを取り巻く環境が年々厳しさを増す中、広くサイバーセキュリティ意識を向上させることが不可欠です。「みんコミ」は、コミックの情報伝達力とSNSの持つ情報の拡散力に注目し、次の目的で企画しました。 ①セキュリティ知識の普及②ネットリテラシーの向上③ネットを守る(良い意味の)ハッカーへの注目とイメージアップ ④セキュリティ人材育成の促進⑤JNSAにおいてSNSの積極的活用による普及啓発活動の量的測定

2. 「みんコミ」実施要領

1) 組織

社会活動部会内に実行委員会を設置。JNSA内の公募委員、各協賛企業の代表者、制作側の代表者、および JNSA事務局によって構成、運営しました。

協賛企業: NTT データ先端技術(株)、(株)クリエイティブジャパン、 トレンドマイクロ(株)、

長崎県立大学、(株)日立システムズ、JNSA

(株)KADOKAWAに取り纏めを委託、併せて作家候補をご紹介いただき、次の2名に制作をお願いしました。

- ・原作作家 大島悠先生:「ファイアーエムブレム」シリーズ(コンピュータゲーム)、 「ドラゴンクエストウォーク」アプリゲームのシナリオを手掛ける実力者。
- ・コミック作家 花園あずき先生:少女漫画的なイラストを多数手掛けられ、現在は「転生令嬢のブライダルプランは少々破天荒につき」を連載中。

実行委員会で協議した結果、SNS は Twitter を使うこととしました。

2) 進行

- 春 INSAセキュリティ十大ニュースにより、「セキュリティで知りたいこと(お題)」を一般から募集。
- 初夏 投票結果を基に協賛企業にお題を分配。お題ごとに啓発内容とストーリー案を作成。 実行委員会案を原作作家に提示し、ブラッシュアップ。
- 夏 ストーリーの確定とキャラクター案作成 (原作作家と実行委員会で協働)。 主要キャラクターのビジュアル化と調整 (コミック作家と実行委員会で協働)。
- 秋 Twitter にて、8週に渡りコミックを配信。 毎週1話、コミック作家と実行委員会で調整後発信。 コミック発信の翌週、インプレッション(コミックが表示された回数)、エンゲージメント("いいね""リツイート"等のアクションが行われた回数)等を(株)KADOKAWAが実行委員会へ報告。
- 冬 実行委員会で配信結果を共有。

3) コミックのあらすじ

KOTB.LTD入社1年目の藤宮ユリル (ふじみやゆりる)の身の回りに起こるサイバーセキュリティ事件! ユリルは、偶然知り合ったセキュリティ関連のネットライブ参加者 (協賛各社のキャラクター)の力を借りながら事



3. 「みんコミ」実施結果

シーズン1 (2020/9/19 ~2020/11/6)

・インプレッション: 5,708,708

・エンゲージメント: 2,816,015 (49.33%)

・いいね: 6,194 ・リツイート: 453

シーズン2 (2021/9/24 ~2021/11/12)

・インプレッション: 5,599,758

・エンゲージメント: 1.924.779 (34.37%)

・いいね: 2,687 ・リツイート: 346

コミックを広告と捉えると、類似ジャンルの同期間平均比 211% ((**) KADOKAWA 実績を基に算出 (* Twitter 広告の平均エンゲージメント率は約4%))であり、啓発・協賛企業の訴求に繋がったと考えられます。

シーズン1に対してシーズン2の絶対値の低下は、Twitter全般にコミック配信が増加したことによる影響があったと予想されます。特に今年は、画像1枚ずつ横にスワイプできるカルーセル形式でのコミックが流行ってきており、そちらの形式の方が"いいね"を押しやすくなっていると推測されます。